



プレスリリース

アンドリッツ、日本の兵庫パルプ工業株式会社向けに新しいDDウォッシャーの稼働を開始

グラーツ（オーストリア）、2024年9月4日 インターナショナルテクノロジーグループANDRITZは、兵庫パルプ工業株式会社の谷川工場において新しいDDウォッシャー・ドラム・ディスプレーサー・ウォッシャーの稼働を成功裏に開始しました。兵庫パルプ工業株式会社は日本を代表する未漂白クラフトパルプの生産者です。この新しいDDウォッシャーの設置は、工場の高カップ・未晒洗浄ラインにおける重要なアップグレードです。

兵庫パルプ工業株式会社の井川直樹代表取締役専務は、「生産量の増加に対応できる柔軟性と、当社の持続可能性目標に合致する環境性能のため、新しいANDRITZ製DDウォッシャーを導入することを決定した」と述べられています。

この最新鋭のANDRITZ製DDウォッシャーは、最大限の洗浄効率と優れたパルプ品質を実現すると同時に水の使用量を最適化し、工場の環境負荷を改善します。また、複数の洗浄段を有する独自の設計により生産ニーズに応じて運転中に洗浄段数を調整することが可能です。

持続可能性の向上を目的とした設備投資の一環として、兵庫パルプ工業株式会社は2023年に新設黒液エバポレーターと液化メタノールプラントもANDRITZから発注しました。なお、この液化メタノールプラントは、日本のパルプ業界において初の導入となります。

兵庫パルプ工業株式会社は、日本や東南アジアの顧客向けに年間約20万トンの未漂白針葉樹パルプを生産しています。また、バイオマスから発電するグリーン電力も供給しています。

兵庫パルプ工業株式会社は、主に廃材を原材料として使用し、パルプおよび発電事業において木材資源の有効活用を推進しています。

以上





兵庫パルプ工業株式会社

プレスリリースと写真のダウンロードについて

プレスリリースと写真は、[andritz.com/news](https://www.andritz.com/news)からダウンロードしていただけます。写真は出典を「Photo: Hyogo Pulp Industries, Ltd.」と明記いただければ、無償で掲載可能です。

本件に関するお問い合わせ先

Niklas Jelinek

Media Relations

niklas.jelinek@andritz.com

[andritz.com](https://www.andritz.com)



ANDRITZ GROUPについて

インターナショナルテクノロジーグループであるANDRITZは、革新的なプラント、機器、システム、サービス、そしてデジタルソリューションなどの幅広いポートフォリオを、様々な産業やエンドユーザーに向けてご提供しています。ANDRITZは、Pulp & Paper（紙パルプ工場向け機器製造）、Metals（金属・自動車産業向け金属加工装置製造）、Hydropower（水力発電向け機器製造）及びEnvironment & Energy（環境・エネルギー関連機器の製造）の4つの事業分野すべてにおけるグローバルマーケットリーダーです。技術的なリーダーシップ、世界中への事業展開による存在感、持続可能性が、長期的な収益性の高い成長を目指すANDRITZの戦略の礎となっています。上場企業であるANDRITZは、約27,900人の従業員を擁し、40カ国以上に280以上の拠点を構えています。

ANDRITZ PULP & PAPERについて

ANDRITZ Pulp & Paperは、あらゆる種類のパルプ、紙、板紙、ティッシュの生産において、サステナブル（持続可能）な技術、オートメーション（自動化）、そしてサービスソリューションをご提供しています。これらの技術やサービスは、原材料の最大限の活用、生産効率の向上、総運転コストの削減、また、革新的な脱炭素戦略や工場の自律運転などに重点を置いています。

発電用ボイラー、各種不織布技術、パネルボード（MDF）製造システム、廃棄物から有価物へのリサイクル技術、破碎やエネルギーソリューション、生産工程で生じる廃棄物や側流を価値ある二次原料や発電用の持続可能な資源に変換する技術もこの事業分野に含まれます。これらにMetrisデジタル化ソリューションの一環として最先端のIIoT技術もご提供し、包括的な製品ラインアップを実現しています。